

九州における身近な地熱利用に関する研究

0. 講義の予定（平成28年熊本地震後の変更，再変更版）

04月13日（水）	第1回目	ガイダンス
05月11日（水）	第2回目	小学児童による教室内の温熱環境評価に関する研究
05月16日（月）	第3回目	九州における身近な地熱利用に関する研究
05月18日（水）	第4回目	第5回目～7回目の発表のための取り組み（各自，4限目）
05月23日（月）	第5回目	研究の枠組みをどのように組み立てるか
05月30日（月）	第6回目	研究MAPをどのように作成するか
06月06日（月）	第7回目	研究発表をどのように組み立てるか
06月13日（月）	第8回目	「建築環境工学」から「建築環境学」へ-建築環境工学の新しい研究手法を考えられないか-
06月20日（月）	第9回目	漁村集落における微気象観測に関する研究
06月27日（月）	第10回目	気候風土の観点からみた近代日本における企業の社宅街に関する研究-地方都市との関係-
07月04日（月）	第11回目	気候風土の観点からみた近代日本における企業の社宅街に関する研究-寒冷地と暑熱地との関係-
07月06日（水）	第12回目	第13回目～15回目の発表のための取り組み（各自，4限目）
07月11日（月）	第13回目	エネルギーの有効利用 パッシブとアクティブ（その1）
07月18日（月・祝）	第14回目	エネルギーの有効利用 パッシブとアクティブ（その1）
07月25日（月）	第15回目	エネルギーの有効利用 パッシブとアクティブ（その1）

注1) 上記のスケジュールは、あくまで予定です。検討を加えた結果、予定が大幅に変更になることもあります。

1. 九州における身近な地熱利用に関する研究

以下の文献を配付。頁番号は、通しではないので注意（文献などの頁数は、配付資料の頁数には加算せず）。

- [1] 辻原万規彦：熊本での身近な地熱利用，第45回熱シンポジウム「バイオクライマティックデザインの視点から地域・都市・建築の環境を考える」（日本建築学会編），日本建築学会，pp. 35～42，2015.10.

2. 参考 URL

- [1] 日本建築学会 環境工学本委員会 熱環境運営委員会 バイオクライマティックデザイン小委員会
<http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s14/>